

周年で彩る日本の花！

# 盆需要に向け「菊」出荷ピーク！

【8月4日（金）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央菊共撰組合（組合長：斎藤則夫）が栽培する菊が、7月下旬から出荷の最盛期を迎えます。

碧南の菊は白の輪菊を主体に、時期に合わせて品種を変え、周年で栽培をしています。葬儀用・仏花用の菊を中心に栽培しているため、新型コロナウイルス感染拡大防止による葬儀の縮小、家族葬の奨励等で大きな影響を受けました。

菊は元々縁起物の花とされており、花持ちの良さから葬儀で使われるようになったとされます。生活様式が変わり、葬儀や墓前でしか菊を見ることがなくなったために現在のイメージが定着しました。近年では仏花だけでなく、染色することで様々なカラーバリエーションでブライダルやフラワーアレンジメントでも使われるようにPRしています。

今作は猛暑や曇天の繰り返しにより生育の遅れや病害虫の発生が懸念されましたが、各生産者の換気や防除などの適切な圃場管理により、例年通りの良好な品質の菊が出荷されています。



収穫された菊。つぼみの状態で収穫されます。

## 碧南市で栽培している品種

碧南では白の輪菊を主体に周年行っており、5月下旬から11月中旬は「精の一世<sup>せい いっせい</sup>」、11月上旬から5月下旬は「神馬<sup>じんば</sup>」と、時期に合わせて品種を変えての栽培を行っています。

## J Aあいち中央菊共撰組合

組合員：7人  
 栽培面積：約3ヘクタール  
 出荷時期：周年（最盛期：7月下旬～8月下旬）  
 総出荷量：約200万本（全品種計）  
 流通先：東北・関東市場（7割）、中京市場に出荷しています。

## <メディア対応日>

日時：2023年8月4日（金）午前8時45分

集合場所：未定

※取材当日は、菊圃場で収穫作業、選花場に戻り選花・梱包作業を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。



菊はJ A選花施設に持ち込まれ、丁寧に選別されます。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp